

WILLCOM

W-ZERO3

読本



～ ベッ 別に [es] なんて

うらやましくなんかないn(ry ~

(白紙)

はじめに

この本は初代W-ZERO3を発売早々に手に入れた筆者・MYAWが天上天下唯我独尊的な見地から書いたW-ZERO3ユーザーのための本である。ネタ的には従前に市販されている解説本の類や、さまざまな“まとめサイト”で取り扱っているものとおそらく大いにかぶると思われる（こればかりは致し方ない）が、その捉え方は人によって異なるのでそこに本書の独自性を見出せればと考えている。

...と書いたところで、そもそもW-ZERO3とは何か、知らない諸兄も多いであろう。また、知ってはいても一般紙等での報道での扱いを見ていると誤解されていると思う点も多い。そこで、本論となる次章以降ではW-ZERO3とはどういったものであるかを解説し、W-ZERO3について理解してもらったうえで掘り下げて記述していきたい。

W-ZERO3とは

W-ZERO3。2005年度末の発表以降、一般紙等でも何度か取り上げられており、また、そもそも本書を手にするような方であれば当然よくご存知なはずだが、一応おさらいという意味もこめて以下に記したいと思う。（くどいようだが本書は基本的には1ユーザたる筆者の印象を基点として語っているので、他のユーザの意見、ましては開発側の意図といったものとは沿わない可能性が多々あるが、そこはご笑覧いただきたい）

この端末のことを1行で解説すると、「PHSキャリアのWILLCOMが出したSHARP製WindowsMobile5.0搭載のスマートフォン」となる。はじめて聞いた人はおそらく、このなかで

- **WindwosMobile5.0**
- スマートフォン

これらの単語に首をかしげるであろう。

したがって、まずはこれらについて簡単に解説したい。

まず、WindowsMobileについて。単語からしてパソコン用の“Windows”の仲間、ぐらいには思うかもしれない。まあそれはそれで間違いではないのだが、時に“パソコンと同じように”といった説明がされていることには閉口してしまう。

たしかにWord Mobile や Excel Mobile といったパソコン用のWord、Excelのサブセット的なアプリケーションはプリインストールされている。だが、あくまで“サブセット”。機能（装飾や関数等）はパソコン用のそれと比較した場合、どうしても劣る。操作性にしてもそうだ。特にファンクションキーがない分、パソコンでファンクションキーに割り当てられていた部分の操作をしようとするとき大きく戸惑うことであろう。また、解像度にしても、XGAの画面になれた身にとっては、W-ZERO3のVGAというのは使いづらいと思うであろう。...まあ、これは「ズーム」機能で適宜縮小してやればよいのだが。

また、WordやExcel（互換ね^^;くどいけど。）が入っている→パソコンのソフトが使える、という勘違いもよくされるがこれは間違い。どう逆立ちしたってムリな話だ。なにしろW-ZERO3はパソコンではないのだから。

W-ZERO3とは（続）

と、ひとしきりWindowsとは似て“異なる”ということを書いた後で恐縮だが、これだけだとただのネガティブ・キャンペーンになりかねないので一応Windowsと“似て”いる部分についても記述しておこう。

まずGUIの画面。Windowsキーを押すか画面左上の「スタート」を押し、開いたメニュー（＝スタートメニュー）からたどって...という一連の操作はまさしくWindowsだ。それから使われている用語。これもほぼ共通とっていいので、Windowsユーザーであればまずそのあたりの操作については戸惑わないはずだ。

GUIで異なる部分を敢えて挙げるならば、デスクトップ（＝Today画面）にショートカットの類が標準ではないのがまあ違うといえば違うが、それについては、後述するオンラインソフトによって簡単に解決する。（というか...市販ソフトがWindowsに比べほとんどない状況なので、ほとんどの状況においてオンラインソフトが活躍することになる。言い換えると、Windowsにおけるオンラインソフトというものは知らなくともまあ実際何とか市販ソフトでなんとかなるものだが、WindowsMobileにおいてオンラインソフトを知らないということはたんに使いづらいだけの存在になってしまう。）

次に、スマートフォンについて。W-ZERO3以降、DoCoMoのHTC製端末の登場もあって一躍市民権を得た言葉である。欧米では一般化しており、また日本においてもそれ以前に出たVodafone 702NK I/IIやDoCoMo FOMA M1000などもスマートフォンに該当するが、スマートフォンという言葉が一般的に出てくるようになったのはW-ZERO3以降であると筆者は認識している。

。なお、付録として巻末に各社スマートフォンの比較一覧を掲載したのでそちらも参考にされたい。

...まあそれはそうとして、スマートフォンの定義はe-words（<http://e-words.jp>）によれば

コンピュータを内蔵し、音声通話以外に様々なデータ処理機能を持った携帯電話。電子メール機能や**Web**ブラウザを内蔵し、インターネットに接続することができる携帯電話などがこれにあたる。

とあるのでまあ実はこの解釈でいけば今日本で売られている携帯電話やPHSのほとんどが該当することになる。...が、日本では従前の電子手帳やPDAの機能を併せ持ったケータイ（＝携帯電話・PHS）のことをスマートフォンと呼ぶようだ。

W-ZERO3とは（続）

W-ZERO3が売れた理由はケータイというよりも（PHSと無線LANという通信手段を内包した）PDAという部分が大きかったように思う。

というのは、WindowsMobileは当時日本ではまだぜんぜん普及しておらず、ほかにはhpのiPAQのくらいしか選択肢がなかったし、またほかのPDAに目も向けてみてもPalmはなぜか撤退方向であった（筆者にはCLIEシリーズが好調であったように見えたので非常に残念だった）し、あとはW-ZERO3と同じSHARPが出し続けているZaurusくらいしかPDAはなかった。

また、それらの値段はW-ZERO3と比較した場合にえてして高かった。

そういった意味では完全に冷え込んでいたと思われていた日本のPDA市場を活性化させることになったエポックメイキング的な製品であるように思う。

とまあ、「WindowsMobile」「スマートフォン」といったところから見てみるだけでもW-ZERO3という製品は非常にマニアックな仕様であるといえる。では一般の人には使いこなせないのか？—それは、Yesであり、Noである—。おそらく、（普通のケータイでは考えられないことだが）買った素の状態、つまり“標準”の状態では恐ろしく使いづらい。設定の変更とかそんな生ぬるいものではなく使いづらいのだ。インタフェースという意味では、Windowsライクな部分の弊害で。あるいはWindowsMobileとWindowsXP等との差異で。

だが、（特にバリバリのカスタマイズをしなくとも）数個のアプリケーションをインストールすることで格段に使いやすくなる。と、説明したところで初めてPDAに触れる方は、パソコン初心者が陥るのと同様、そう聞くととたんにこれらの作業をやる気にはならないだろう、とは思いますが、まずは次章で必須アプリケーションの紹介、およびそのインストール方法を紹介するので恐れずにやってみてほしい。きっと格段に使い勝手がよくなるはずだから。

必須アプリケーション

ここで紹介するのは、W-ZERO3を使う上において“必須”であると思われるものである。といっても“必須”の基準など、筆者の独断と偏見に過ぎない。（といっても実はたった2つだし、インストールの方法も説明するのであまりアプリケーションを追加する予定のない人もぜひ試してほしい。）

GS Finder+ / GS Finder+ for HTC Universal（非常駐/Free）

エクスプローラライクな操作性をもったファイラー。

...とだけ書くと標準で入っているファイルエクスプローラで充分、という気もするが、このソフトはそれだけではなく、標準では対応していない、LHA（拡張子lzh）やZip（拡張子zip）といった圧縮ファイルの解凍に対応していたり、またファイルの関連付けの作業も行うことができるというスグレモノ。特に圧縮ファイルの解凍機能は、ネットで見つけたソフト等をW-ZERO3のみでインストールしようとしたときや、あるいはメール添付でこれらのファイルがついてきたときに重宝する。筆者としては何はなくともこのソフトを最初にインストールすることを強くお勧めしたい。

なお、GSFinder+ for HTC Universalのほうはcabファイルでも配布されているため、（特にWindows2000/XPな環境を持たない人には）こちらをお勧めする。

※ただし、すべてのプログラムがW-ZERO3単体でのインストールに対応しているわけではなく、インストール時にPCが必須なソフトもある。（例：NetFront Webブラウザ/シェアウェア）

一口メモ：

拡張子、とはファイルを視覚的に区別できるようにファイル名のあとにくっついている。（ドット）以下のものをいう。この拡張子をWindows（以外のシステムでもそうだが）が見て、どのプログラムで開くべきか判断している。

CeSleep（常駐/Free）

旧名SigSleep。W-ZERO3に限らず、なぜかWindowsCE/Mobile端末は毎夜0:00になると勝手に立ち上がるという“仕様”になっている。しかも、次に操作をするまで立ち上がったまま。これではすぐにバッテリーが上がってしまう。このCeSleepはそれを改善するソフトである。

【ソフトウェアのインストール方法 — 1.ダウンロード】

では、インストール方法を説明しよう。WindowsMobile端末にソフトウェアをインストールするには、大別して2つの方法がある。ひとつはPC経由（ActiveSync）でインストールする方法、もうひとつは端末で直接インストールする方法だが、今回は前述した2つアプリケーションを例題にあえて後者の方法、つまりW-ZERO3単体でのインストールする方法を説明する。



さて、W-ZERO3をはじめとするWindowsMobile用のソフトは、LHAないしZipで圧縮されていることが多い。だが悲しいかな、標準ではこれらのファイルに対応しておらず、WindowsPCがほぼ必須となってしまふのだ。よってまずはcab形式でも配布されており、且つ圧縮ファイルの解凍にも対応しているGSFinder+ for HTC Universal をインストールすることにする。

まず、インターネットに接続された状況（さすがにこのあたりはマニュアルに書いてあるのであえて説明しない。）で Internet Explorer Mobile ないし Opera Mobile を立ち上げる。

次に、以下のURIを入力し、GSFinder+ for HTC Universalのページへと飛ぶ。

<http://mkawa.dyndns.org/SoftOkiba.htm>

いくつかのアーカイブに分かれているが、インストールファイルとあるもの（GSFinder-Uni_J.cab）をタップ（1回だけリンクの文字列をタッチペンで“チョン”と触る）すればダウンロードされる。サイズは400KBあまりなので仮にPHS回線で接続していた場合もすぐにダウンロードが終了すると思われる。

【ソフトウェアのインストール方法 — 2.インストール】

さて、ダウンロードが完了したら早速開いてみよう。

ダウンロードされた場所はなにも保存時に変更していないのであれば“MyDocuments”あたりになるはずだ。なので、まずはファイル エクスプローラを立ち上げ、MyDocumentsフォルダ（もしくはダウンロード時に自分で指定した当該フォルダ）を開く。

（ちなみに、ファイル エクスプローラを最初に立ち上げたときMyDocumentsフォルダが開かれる。また、例えばminiSDに保存した場合は画面左上の「MyDocuments▼」をタップするとメニューが展開され、そのなかにminiSDとあるのでそこを再度タップすれば良い。）

一口メモ：

もし、万が一見つからなかった場合は、スタートメニュー → プログラム → 検索 で当該ファイルを探そう。



そこに、ダウンロードしたGSFinder-Uni_J.cabがあるはずなのでそれをタップするといきなりインストールが始まる。

インストール先はデバイス（＝本体）かminiSDにするか聞かれる。どちらでも問題はないが、こういったユーティリティ系は何かと本体にあったほうが都合が良い。ましてやこのソフトはファイルサイズ自体も小さいものであるし、また頻繁に使うと思われるのでデバイスにインストールしたほうが個人的には良いと思われる。インストール先を決めたらソフトキー（「-」のキー）でインストールを選択すればあとはほんの数秒でインストールが完了する。

【ソフトウェアのインストール方法 — 3.メニューへの登録】

では早速立ち上げてみよう。

...の前に、どうせ頻繁に使うのだから“メニューに登録”してあったほうが何かと使いやすい（通常はスタートメニュー→プログラム→（ソフト名）で起動させるが、メニューに登録してあるものは スタートメニュー → （ソフト名）と2タップで起動させられる）ので、こちらへ登録してみる。

さっそくその方法を説明しよう。

1. スタートメニュー → 設定 とタップし、出てきた各種設定用の画面で「メニュー」をタップする。
2. すると、“ActiveSync”といったチェックボックスがずらりと並ぶので、メニューに登録するものだけタップしてチェックをつけていき、右上の“OK”をタップすると登録される。（ただし、無尽蔵にできるのではなく、最大で7つまでしかメニューに表示させるプログラムを選択できないので注意しよう。）

【ソフトウェアのインストール方法 — 4.関連付け】

さて、スタートメニューに無事登録できたところで早速立ち上げよう。さきほどスタートメニューに登録したGSFinderをタップすると7ページで紹介したような画面が表示される。

必須アプリケーション（続）

だが、ここであせってはいけない。まだ、「ファイルの関連付け」という作業が行われていないため、この状態で圧縮ファイルをGSFinder上で実行してもエラーになるだけだ。

なので、

1. 編集→オプションをタップ
2. 画面下部にタブが表示されるので右端にある右向きの三角形のマークを何回かタップし、「圧縮/解凍」というタブを表示させる。
3. 圧縮/解凍タブをタップし、「ダブルタップで解凍する」、及び「書庫と同じ場所に解凍」にチェックをつけ、右上の「OK」ボタンをタップするとようやくGSFinderでの解凍が可能になる。

これでGSFinderの登録は完了した。

これがあれば、LHAやZip形式のファイルの解凍ができるので、さっそく、もうひとつの必須アプリケーション、CeSleepをインストールしよう。

CeSleepは以下のURIにあるので、さっそく先ほどと同様にブラウザを立ち上げてアクセスする。

CeSleep (Windows CE Sleeper)

<http://www.ipmsg.org/tools/cesleep.html>

ページを見てみるとわかるが、CeSleepは「仕上がり品：CeSleep100.zip（MIPS/ARM系同梱）」と「ソース：CeSleep100src.zip」がダウンロード可能（2006-08月上旬現在）となっているが、「仕上がり品～」のほうをダウンロードする。

ダウンロードしたファイルは拡張子が「.zip」となっている。よって標準のファイルエクスプローラでは開くことができないため、先ほどインストールしたGSFinderで開く。操作方法自体はファイルエクスプローラとそう差はない。むしろ、フォルダ構造がGSFinderのほうが若干わかりやすいのでかえって使いやすいであろう。（なお、標準だと拡張子を表示していない設定になっているので、GSFinderの表示→オプションで「拡張子を表示しない」のチェックをはずす。）

さて、GSFinderを使って圧縮ファイルの解凍をやってみることにする。

といってもなんら特別なことはなく、単純にその対象ファイルをタップするだけだ。

必須アプリケーション（続）



...というわけで早速CeSleep100.zipをタップすると「CeSleep100」というフォルダが今しがた解凍したファイル同じところにできては
ずだ。だが、このソフトにはcab形式のインストーラは存在しない
。いきなり実行形式のファイルが入っているのだ。よって少々面倒だ
がこのあと以下の作業が必要となってくる。

このフォルダを丸ごと適当な場所(例：マイポケットPC（=本体）
直下)に移動させる。さて、CeSleep100フォルダの中には、さら
に「ARM」「MIPS」というフォルダがあり、そのどちらに

も「CeSleep.exe」というプログラムが入っているが、ここでは「ARM」フォルダの中のそれを
長押しし、出てきたメニューの「ショートカットの作成」をタップする。すると、「CeSleep（
へのショートカット）.lnk」というファイルができるので、これをマイポケットPCの「Windows
」フォルダの中にある、「スタートアップ」フォルダの中に移動し、（パソコンのWindowsユー
ザにはおなじみの機能だが、念のために解説しておく、と、「スタートアップ」フォルダにあるも
のは、リセットや再起動をしても自動的に起動するようになっている。）そのファイルをタップ
すれば起動し、早速く常駐（Today表示時に右下に小さく青地に黄字で[CS]とあればOK）する。

一口メモ：

ダウンロードするとき、またはインストールするときXscale用だのARM用だのMIPS用だ
のとあってどれをインストールすればよいか迷うかもしれない。その場合は基本的に以下の
順序でインストールするアーカイブを選んでほしい。

●WindowsMobile5 用

↓ない場合

●WindowsMobile2003用

↓ない場合

●PocketPC 2002用

↓ない場合

●PocketPC用

↓ない場合

●Xscale用

↓ない場合

●ARM用

必須アプリケーション（続）

※ただし、WindowsMobile5用とあるもの以外のプログラムは必ずしもW-ZERO3で動くとは限らない。有名なもので漢字変換ソフトのATOKは現在WindowsMobile5用のものは販売されておらず、それに気づかずに現在販売中のもの（PocketPC 2002用）をインストールすると様々な不具合（※W-ZERO3[es]にプリインストールされているものではない。[es]にプリインストールされているのは現在まだ販売されていないWindowsMobile5用）が出る。それでも何とか強引に自力で直して使っている剛の者もいる（よってあえてURIは書かないが W-ZERO3 ATOK あたりの単語でGoogleやYahoo!で検索をすればその方法について書かれたページがあっさり見つかる。）が勧めはしない。

お勧めアプリケーション

この章では、必須・必携！とはいかないものの、インストールしておくとなにかと重宝するソフトを紹介する。インストール方法などは特に説明しないが、実は前章の作業がひととおりできるようになっていればさほど難しくないと思われるので（興味が惹かれたたソフトからでも）インストールにトライしてもらいたい。なお、ここで紹介するものはすべてフリーソフトである。



・ Pocketの手 for W-ZERO3

<http://smart-pda.net/wfdownloads+singlefile.cid+1+lid+1.htm>

・ W-ZERO3 Utility Plus 【注意：[es]での動作は一部不具合あり】

<http://www.mcf.cn/~wzero3/>

まずはこれらのソフトから。

これらのソフトを使うとW-ZERO3をお手軽カスタマイズできる。

具体的には、ポケットの手ではminiSDからの読み込みを早くするためにディスクキャッシュを設定できたり、またW-ZERO3 Utility Plusではハードウェアキーの動作を変更することができたり（補足しておく、ごく一部のキーについてはW-ZERO標準でもスタートメニュー→設定の[個人用]タブにある「ボタン」で設定変更可能。）といった具合だ。ただ、ただしW-ZERO3 Utility Plusは無印W-ZERO3に特化しているので、W-ZERO3[es]での動作については一部対応していないものもあるので気をつけよう。

・ EasyDial

<http://d.hatena.ne.jp/KOTETU/20051005/p1>

配布サイトにも書いてあるが、このソフトは単純に「ダイヤルアップ接続・切断を一発で行うだけのソフト」。ただ、これが以外に重宝する。筆者はこのソフトをIEボタンの長押しに当てている。



・ TaskmMan

<http://smart-pda.net/wfdownloads+singlefile.cid+2+lid+2.htm>

お勧めアプリケーション（続）

・ nPOP

<http://www.nakka.com/soft/npop/>

メールソフト。標準のOutlookが嫌！という人にお勧め。

Outlookを使わない＝メールの同期がPCととれなくなる、ことがほとんどだが、このソフトはPC用Windowsでも開発されており、ファイル（メールボックス）単位での互換性があるので、このファイルをActiveSyncするようにしておけば良いというのもうれしい。

Outlook同様、マルチアカウント対応。なお、nPOPQ、nPOPUPなど多くの派生バージョンがある。



・ ぽけギコ

<http://homepage2.nifty.com/qta/pgiko/>

2chブラウザ。2chとは...などとはいまさら解説はしないが、W-ZERO3に関するいろいろな情報が日々出てきているので、チェックしておこう。（ただし、2ch管理人自ら言っているように、その情報がホントかウソかは分からないので自分なりに精査したほうがよいと思うが。）

・ AirDictionary

<http://hp.vector.co.jp/authors/VA003211/airdictionary/airdictionary.html>

Webを利用した辞書検索ソフト。

（PHS接続を含む）ネットワークにつながった環境であればおそらくそうストレスはないと思われる。フリー版とシェアウェア版があるが、フリー版でも筆者的には問題ない。最近Wikipediaの検索に対応し、マルチ辞書としての地位を固めている。



お勧めアプリケーション（続）

WindowsMobileとパソコン用のWindowsXPなどとの動作の大きな違いとして、ウィンドウ右上の[x]を押したときの動作がある。パソコンでは、[x]は終了だが、WindowsMobileではただ単に非アクティブにしているだけ、ソフトは立ち上がったまま。このソフトは、現在立ち上がっているソフトの一覧をアイコン表示し、フォーカスのあるソフトに対し、アクションボタンを押すとアクティブ状態に、左ソフトキーを押すと終了させることができる。個人的には非常に重宝しており、ないと困る！アプリケーションのひとつだが一応、標準でもスタートメニュー→設定→[システム]タブ→メモリで実行中のプログラムの切り替え、終了が可能なのであえて割愛した。

・ Runner

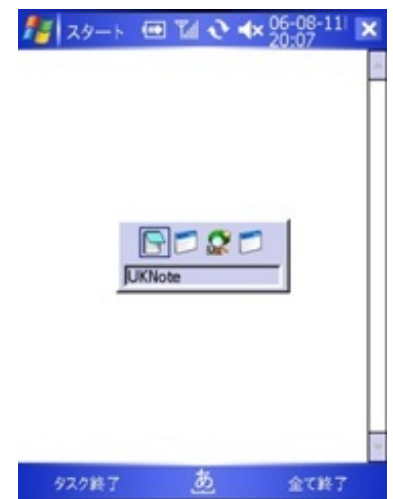
<http://smart-pda.net/wfdownloads+singlefile.cid+2+lid+3.htm>

・ Runner [es]

<http://smart-pda.net/wfdownloads+singlefile.cid+2+lid+4.htm>

ハードキーに割り当てるタイプのランチャーソフト。特にRunner[es]は[es]の特徴でもあるテンキーに対応しており、非常に使いやすくなっている。

なお、このRunner/Runner[es] 及び 前項のTaskManを使用するためには、キー割付が発生するのでW-ZERO3UtilityPlus（あるいはそれに類するソフト）のインストールは必須だ。



・ まるちたっぷ

<http://d.hatena.ne.jp/KOTETU/00000109>

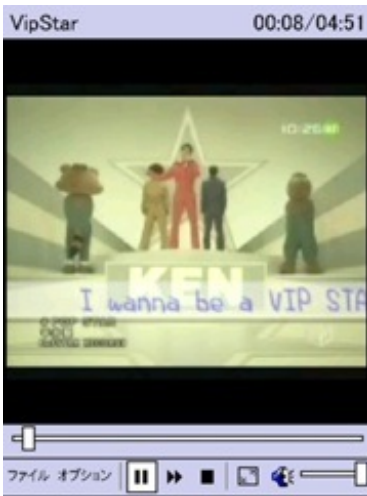
このソフトは擬似的に画面の下部をテンキー状態にするソフトである。

#...というわけでおそらくW-ZERO3[es]ユーザにはどう考えても不要だが。

筆者は電車で立っているときなど横画面&キーボード状態にするのが少々厳しいときなどに重宝。（どうでもいいことだが、筆者がW-ZERO3[es]に突進しそうになったのを思いとどまらせているソフトでもある。）

・ TCPMP

<http://tcpmp.corecodec.org/download>



定番マルチメディアプレイヤー。これさえ入れておけばまずどんな形式であっても困らないだろう。パソコン用WindowsにおけるMediaPlayerClassicみたいなものか。

（ダウンロードについて補足：上記URIからWindowsMobile Versionとある項のLatest version をタップ、それから開いたページでtcpmp.arm.cabs.0.71.zip<執筆時点>をタップ）

・ CedarFTP

<http://hp.vector.co.jp/authors/VA023546/soft/cedar.html>

これまた定番のFTPクライアントソフト。ブログツールが普及した今となってはそう出番は多くないかもしれないが、入れておくといざというときに安心できる。

ページの都合で今回あえて紹介していないものもあるが、だいたいこんなところであろうか。一応Webでも定評あるソフトを紹介したが、世の中にはまだまだたくさんのソフトがある。あとはお好みでどんどんインストールし、自分だけのW-ZERO3をクリエイトしてほしい。

さて、ここまでずっとカスタマイズ中心の話をしてきたわけだが、そのメとして、テーマのカスタマイズの話をしておこう。

テーマとは壁紙や配色の設定などのセットのことで、標準でもスタートメニュー→設定→[個人用]タブ→Todayで、[デザイン]タブのところに標準でもたくさんのテーマが用意されている。このテーマ、実は自分でも作れるのだ。筆者が使ったのはこれ。



ThemeMakerSE

<http://tk109.matrix.jp/blog/archives/001238.html>

お勧めアプリケーション（続）

#ちなみに、オフィシャルなファイルではない。

#（かといってWarezとかいう類でもないのご安心を。）

パソコンのWindows用のソフトで使用する画像ファイルを置いて適当に色をスライダーで移動して選択して作成でよいというかなりお手軽なソフト。ちゃんとランドスケープ表示にも対応している。

ケース etc

次に、今度はハードウェアについて取り上げていきたい。

まずは保護フィルムだ。これについては各社からいろいろな商品が出ているが、個人的には

- ・ダイソーやキャンドゥで100均で売っている電子辞書用の大型の液晶フィルム

もしくは

- ・ミヤビックス **OverLay Brilliant for W-ZERO3**

http://www.diatec.co.jp/shop/det.php?prod_c=358

を薦めたい。とりあえず、ならば前者で充分、そのあと満足できない（でも保護フィルムはいる）となったら後者を買えばよい。保護フィルム自体はほかにもいろいろ出ているが、スタイラスの感度が悪くなったり、文字が見づらくなったりするが後者の製品は若干金額設定が高いだけあってそのあたりが非常に良いからだ。



次に、ケースだ。

筆者はエクストリームリミット (<http://www.extreme-limit.co.jp/>) の

WILCOM W-ZERO3用高級本革モバイルスーツ
(ベルトクリップモデル)

というケースを使用している。税込みで4,725円と若干値はあるが、革の触感も良く、大変満足している。似たようなタイプとしては丑や (<http://www.kyoto2001.co.jp/ushi-ya/>) の**LeatherPocket for W-ZERO3** (税込み6,930円) が挙げられるだろうか。

さて、サラリーマンにはコレで良いかもしれないが確かにこのケースはゴツイ、というかカジュアルな服装には似合わない。そういったカッコが多いのであれば、

ANIARA

<http://www.boblbee.co.jp/products/aniara/>

はいかがであろうか。

人気らしく、なかなか入手困難な製品だが、もともとがiPodを入れることを想定しているので耐衝撃性も抜群、転ばぬ先の杖としても良いのではないだろうか。値段は税込みで6,090円也。

W-ZERO3とW-ZERO3[es]



W-ZERO3にはほとんど後からの拡張が不可能だ。対して、つい先日発売開始となったW-ZERO3[es]は**USBホスト・SDIO**対応でテンキー付というのは確かにどよめいた。よりケータイらしく、持ち運びやすくなったことも否定しない。スペックダウンした部分といえば画面の大きさ（3.7→2.8）と無線LANが標準ではついてこなくなった、という部分くらいか。

しかも値段は1万引いて。

コレだけ聞くとなんだか[es]が欲しくなる。

だが、ちょっと待ってもらいたい。先ほど“スペックダウンした部分は一部分くらいか。”と書いたが、実は初代の強みは画面の大きさにこそあるのだ。

解像度がかわらず、画面が小さくなったということは当然、文字もちいさくなった、ということだ。もちろん、ケータイとしてはそれでもまだでかいのだが、筆者はよく会議や打ち合わせのさい、W-ZERO3を持参し、メモをとっている。また、時折Excelシートの編集を行っている。この作業にはどうしても初代W-ZERO3の画面の大きさが必要なのだ。

...いやほんとに。ようは、よりPDAらしく使うためには初代が、ケータイらしく使うためには[es]ってところのようだ。これからW-ZERO3シリーズを買う人は自分がどちらのスタンスに重みをおくのか、それを考えてから買ったほうが良いであろう。

...とまあ、ざっとではあるが、W-ZERO3について自分なりの考えをまとめてみた。もともとは、自分のブログのまとめ、みたいなつもりでさらっとかけるかな、などと考えていたが書き始めてすぐにそれが難しいことに気づいた。また、本書は主にこれからW-ZERO3に触れる人、あるいは買っては見ただけのものまだ慣れていない、そういった人たちをターゲットに作成してみたのだが、文章力のなさがここで露呈し、うまく書けていない面もある。申し訳ない。

さて、冒頭でも述べたようにW-ZERO3というのは日本のPDA市場全体のエポックメイキング的な製品である。筆者自身もこれまで様々なPDAに触れてきたが、使い勝手の良さからおそらくW-ZERO3が一番触れているだろう。(2番目は初代MobileGear。汎用DOSアプリが使えたこととあのキーボードは絶品だといまだに思う。) いまだに触れていて飽きないというのも(筆者にしては)めずらしい。そんなW-ZERO3シリーズをWILLCOMは50万台売るつもりだ。

【インタビュー】 **W-ZERO3[es]**開発陣のこだわり、ウィルコムとシャープに聞く
<http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20060713/243323/>

> 「W-ZERO3は15万台売れたが、50万台は売れない。その限界を突破したい」

50万台！

もちろん400万超程度のWILLCOMユーザー数においてのその数字は十二分にでかい。だが、それ以上にPDA市場での50万台の意味というのはデカイのだ。

筆者は、これからもWILLCOMを、そしてW-ZERO3を応援する立場としてブログを更新していく予定である。こういった面白い製品が出る限りにおいて、ではあるが、まだまだこういった意味でほかの業界(ケータイ業界からPDA業界、の意)への風穴を開けてくれるであろうと期待している。

ただし、WILLCOMはインフラ面での整備が遅れているように思うので、次世代PHSを含めたこれらの整備がどうなっていくか—これが整備されなければ結局客は離れる—といった点も注視していきたいと考えている。ブログタイトルどおり(?)、ときおり更新されなくなる筆者のブログだが、もし機会があれば覗いていただきたい。

付録：WILLCOM W-ZERO3 情報サイト

WILLCOM

<http://www.willcom-inc.com/>

memn0ck.com

<http://www.memn0ck.com/>

WILLCOM NEWS

<http://blog.willcomnews.com/>

useWill.com

<http://usewill.com/>

ウィルコムファン W-ZERO3

<http://www.willcom-fan.com/wzero3/>

W-ZERO3 2ch情報まとめ

<http://w-zero3.org/>

Wiki@nothing:W-ZERO3

<http://wiki.nothing.sh/page/W-ZERO3>

W-ZERO3 Wiki

<http://w-zero3.oshietekun.net/>

なおっきのぶろぐ

<http://naokki.com/etc/mt/>

京ぽんG

<http://mkgblog.seesaa.net/>

伊藤浩一のW-ZERO3応援団

<http://d.hatena.ne.jp/itokoichi/>

【バリ5！】

<http://bari5.jugem.jp/>

WILLCOMサービスカウンター新さっぽろ店

<http://arc-city.co.jp/pocketshop/>

29a TODAY

<http://blog.goo.ne.jp/kunihiko1981>

WindowsCE FAN

<http://wince.goo.ne.jp/>

(順不同)

キーボードショートカット：

Ctrl+T：半角英数変換

Ctrl+U：ひらがな変換

Ctrl+l：全角カタカナ変換

Ctrl+O：半角カタカナ変換

Ctrl+P：全角英数変換

Fn+Shift+C：スクリーンショット（ファイルはBMP形式で保存）

Windowsキー×2：Today画面表示

時計のデジタル/アナログ表示の切り替え：

タスクバー上部に表示されている時計をスタイラスで長押し

「ファイル名を指定して実行」：

1. アクションボタンを押したままにする
2. タスクバー上部の時計をタップ
3. アクションボタンを離す
4. 「ファイル名を指定して実行」をタップ

付録：スマートフォン比較

製品名	W-ZERO3[es](WS007SH)	W-ZERO3(WS004SH)	W-ZERO3(WS003SH)	hTc Z	M1000	Vodafone702NKII
キャリア	WILLCOM	WILLCOM	WILLCOM	NTT DoCoMo	NTT DoCoMo	Vodafone
メーカー	SHARP	SHARP	SHARP	HTC	Motorola	Nokia
サイズ(単位:mm)	高さ 135*幅 56*厚さ21	高さ 130*幅 70*厚さ26	高さ 130*幅 70*厚さ26	高さ 112.5*幅58*厚さ22	高さ 117*幅 59.5*厚さ21.5	高さ 108*幅56*厚さ21
重量	175g	220g	220g	176g	168g	133g
OS	WM5	WM5	WM5	WM5	Symbian OS7.0	Symbian OS8.0a
液晶サイズ	2.8	3.7	3.7	2.8	2.9	2.1
解像度	VGA(480*640)	VGA(480*640)	VGA(480*640)	QVGA (240*320)	QVGA(208*320)	176*208
連続待受	500時間	200時間	200時間	180~250時間	3G : 200時間 (移動時)	260時間
連続通話	7.5時間	5時間	5時間	UMTS:2~4 時間	音声通話時120分(3G),テレビ電話時80分 (3G)	3G : 約190分
テンキー	○	×	×	×	×	○
キーボード	○	○	○	○	×	×
カメラ	131万	133万	133万	200万	131万	130万
無線LAN	Opt	○	○	×	○	×
Bluetooth	Opt	×	×	○	○	○
価格(新規)	29800	44800	39800	?	O.P.	13440
拡張	USBホスト,miniSD	miniSD	miniSD	IrDA、microSD	TransFlash、microSD	MMC
国際ロミング	×	×	×	○	○	○
備考	ATOK	辞書内蔵				

必須アプリケーション（続）

※ただし、WindowsMobile5用とあるもの以外のプログラムは必ずしもW-ZERO3で動くとは限らない。有名なもので漢字変換ソフトのATOKは現在WindowsMobile5用のものは販売されておらず、それに気づかずに現在販売中のもの（PocketPC 2002用）をインストールすると様々な不具合（※W-ZERO3[es]にプリインストールされているものではない。[es]にプリインストールされているのは現在まだ販売されていないWindowsMobile5用）が出る。それでも何とか強引に自力で直して使っている剛の者もいる（よってあえてURIは書かないが W-ZERO3 ATOK あたりの単語でGoogleやYahoo!で検索をすればその方法について書かれたページがあっさり見つかる。）が勧めはしない。